

生活習慣病の予防に関する分子疫学コホート研究

生活習慣病といわれるように、多くの病気（脳卒中や心筋梗塞、高血圧、糖尿病、高脂血症、がんなど）の発生には、日常の生活習慣が関係していると考えられています。こういった病気を予防するために、健診成績や病気発生と生活習慣との関わりが地域住民を対象に広く調べられています。しかし、我が国の産業の担い手である方々については、そのような調査が十分行われていません。

名古屋大学では、勤労者世代の人々の健康を守ることを目的に、平成9年度より「事業所健診成績の有効利用による脳・心血管事故の第一次予防」を研究テーマとして研究に取り組んできており、働く人々の健康維持に生かせる貴重な知見、すなわち、病気の発生に関係する生活習慣や健診結果を明らかにしてきました。

このように基盤の整った大規模な調査研究を維持し、さらに継続することは、皆様の健康に役立つ知識を得るために非常に重要であると考えています。さらに、同じような生活習慣や生活環境にある人の間でも病気の罹りやすさには個人差があることから、生活習慣や生活環境と生まれながらの体質（遺伝因子）の両方に注目しながら、それらが生活習慣病にどのような影響をあたえているのかを解明していくことは、体質にあわせた生活習慣病予防法を進展させるために大変重要です。

この研究の目的は、皆様からいただいた生活習慣等に関するアンケート情報・健診情報・遺伝子解析結果・追跡情報などを活用した医学的研究をおこない、職員の皆様の健康管理に役立つ情報を得るとともに、我が国の循環器疾患やがん、その他の生活習慣病の予防や治療に役立てることです。

病気と生活習慣や検査結果との関係をより明らかにしていくためには、追跡調査を実施して、入院を要する病気になられたかどうか、病院へ定期的に通っていらっしゃるかどうかを把握することが極めて重要です。その一方策として平成14年度以降、病歴に関する調査を定期的の実施してきており、今後も継続いたします。研究のあらゆる段階で、プライバシーは厳重に守られます。研究の趣旨をご理解いただき、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

また、重要な知見を迅速に明らかにしていくためには、日本の他の地域や職域、あるいは世界各地で行われている同様の調査研究と共同分析を実施していくことが有用です。今回の調査で作成したデータベースを匿名化し、国内・国際共同研究を実施していくことにつきましてもご理解とご協力を頂きたいと存じます。

この研究でお願いすること

- (1) 生活習慣等のアンケート
- (2) 病歴アンケート
- (3) 健診成績の分析と利用（健診時間診票の内容を含む）
- (4) 健診時の検査済み血液及び尿の寄付

追跡調査について …… 生活習慣や検査結果と生活習慣病との関連を調べるためには、皆様のこれからの健康状態を長期にわたり把握していくことが必要です。具体的には、病気の発症を把握するために、定期的にアンケートによる調査を実施いたします。また、ご在職中に不幸にもお亡くなりになられたり、休業あるいは退職されたりした場合には、確認させていただきます。

ご退職後の追跡調査について …… アンケートによる調査はご退職後も実施させていただきます。アンケートによる調査の他に、法律などで定められている正当な手続きのうえ、がん登録や人口動態死因照合による追跡調査を実施いたします。追跡は、20年間を予定していますが、研究計画が見直された場合には延長あるいは短縮される可能性があります。

健診検査用の血液および尿の残りの提供について

血液・尿の一部を用いて、生活習慣病に関係した項目（たんぱく質やホルモンなど）を測ります。また、血液中の細胞から、DNAという遺伝情報を収めた物質を取り出します。DNA等を用いて、まだよくわかっていない遺伝子も含めて、ヒトの遺伝子全体を調べます。たとえば、生活習慣病との関連が考えられている発がん物質や薬剤の代謝酵素・炎症に関与する酵素などの遺伝子が含まれます。血液・尿・DNAは凍結し長期に保存します。これらを使って研究をおこなう場合には分析項目を明記した研究計画書を作成し、あらためて倫理審査委員会の承認を受けます。これらの内容はニュースレターやホームページを通して皆様に周知いたします。

プライバシーの保護について

個人のプライバシーは厳しく守られます。具体的には、国が定めた基準（「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」および「疫学研究に関する倫理指針」）にしたがって厳重に保護します。結果の公表に際しては、個人名が特定されることは一切ありません。

研究中の解析に用いるアンケート情報・健診情報・血液および尿試料の解析結果、追跡情報（以下「調査資料」）、血液および尿試料（以下「生体試料」）は、

個人を特定できないように番号をつけて匿名化して保管します。日々の研究には匿名化したものを用いるため、研究者はだれの調査資料を解析しているのかわかりません。ただし、追跡調査の結果や経年的な健診成績結果、さらに繰り返し調査の情報などを付け加えていくため職員番号や氏名などと番号との対応表を作り保管しておく必要があります。遺伝子解析結果を含む情報についての対応表は、研究に参加しない個人情報管理者が厳重に管理し、外部に漏れないようにします。

個人情報扱うコンピューターは外部と接続しません。共同研究機関に対して生体資料を送付して検査を実施する場合は、匿名化した状態で行います。共同研究機関に個人情報付きの調査資料を送付する場合は、個人情報保護条例などに定められた手続きを経た上で行い、当該施設内においては、匿名化され研究に必要な解析に用いられます。

苦情や質問の受付先

研究事務局

住所：〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町 65

名古屋大学大学院医学系研究科国際保健医療学・公衆衛生学

電話：052-744-2127 FAX：052-744-2131

p-health@med.nagoya-u.ac.jp

(研究途中での同意の撤回も上記事務局までご連絡ください。)

名古屋大学医学部総務課

住所：〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町 65

電話：052-744-1901